

令和4年度全国学力・学習状況調査

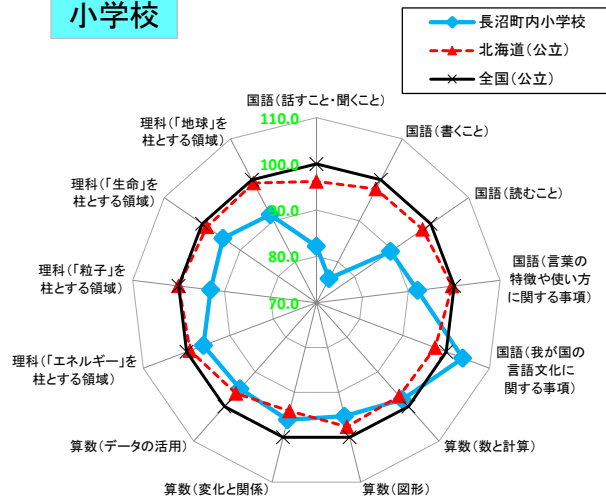
■長沼町内の状況及び学力向上策（小学校数:1校、児童数:68人）（中学校数:1校、生徒数:82人）

【教科全体の状況】

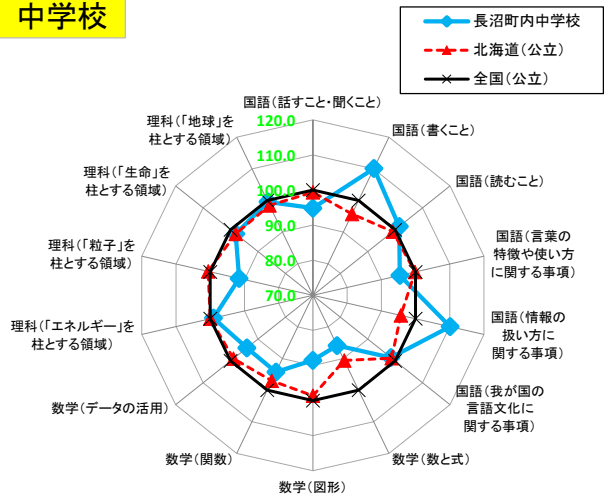
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 （市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	59	67
算数・数学	61	46
理科	60	48

小学校

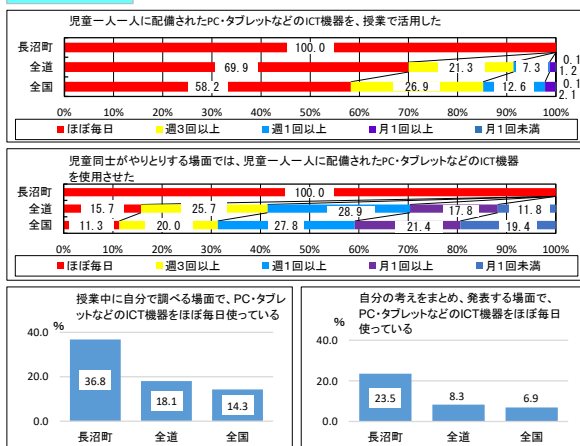


中学校

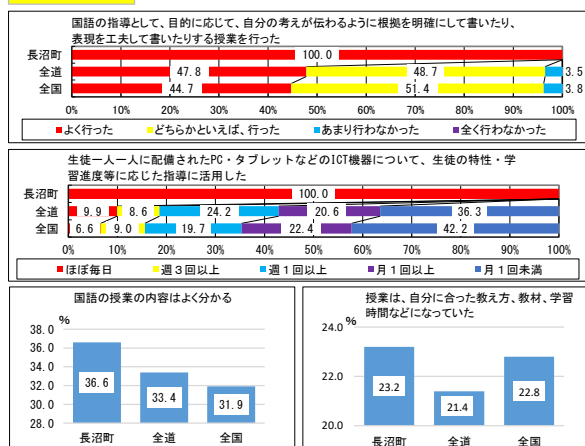


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でほぼ毎日活用したことにより、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使っていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日使用させたことにより、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使っていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

国語の指導として、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりする授業を行ったことにより、国語の授業の内容はよく分かったと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、生徒の特性・学習進度等に応じた指導にほぼ毎日活用したことにより、授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていたと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【長沼町の学力向上策】

- ◎ 小中一貫教育推進会議による9年間の見通しをもった教育活動全体のカリキュラムの充実や効果的な利活用の検討など、小・中学校が協働した授業改善の推進
- ◎ 教員の指導力向上に向けた研修支援の充実
- ◎ AI教材などの学習アプリを用いたICT活用の充実(授業並びに端末持ち帰りによる家庭学習での効果的利活用の推進)
- ◎ 学習支援員やALTの配置及び検定料助成などによる、子どもたちの学びを支える教育の推進